



首里城公園企画展

椿展

～琉球漆器に描かれた椿模様～

椿は、生命力の強さから長寿をあらわすおめでたい模様として親しまれてきました。琉球王国でも、椿の花模様は愛され、琉球漆器などの美術工芸品に描かれてきました。今回は、琉球漆器に描かれた鮮やかな椿の花模様を首里城南殿でお楽しみ下さい。



場所：首里城公園 有料区域 南殿二階特別展示室
期間：平成 25 年 1 月 15 日（火）～3 月 15 日（金）
お問合せ：首里城公園管理センター TEL 098-886-2020

首里城公園友の会 会員募集のご案内

首里城公園友の会は、首里城公園の質的充実と愛護、育成の諸事業を実施し、併せて会員相互の親睦を図ることを目的として設立されました。

主な事業

- 首里城公園に関する鑑賞会・講演会・研究会の開催
- 首里城公園友の会会報の発行
- 史跡巡見・首里城周辺めぐり・首里城見学会・展示品解説会等の開催
- 親子体験教室・芸能等鑑賞会の開催
- イマヌキ育樹祭

活動風景



入会方法

本会の主旨に賛同する会員を募集しています。申込用紙に必要事項を記入し、会費を添えて最寄りの銀行（沖縄海邦銀行・沖縄銀行・琉球銀行）、郵便局または事務局にお申込みください。

- 年会費（4月～3月）
個人会員 2,000円 法人会員 10,000円

●会員の特典

- ①首里城公園への優待入場（無料入館券2枚、会員証提示で2割引）
- ②友の会主催の講演会・見学会・史跡巡見等への参加
- ③友の会会報等の配布
- ④首里城公園友の会発行図書割引

お問い合わせ・お申し込み
首里城公園友の会事務局 ☎098-886-2020

舞への誘い

琉球王朝時代、首里城で育まれた琉球舞踊
琉球舞踊（古典舞踊・雑踊）の魅力を活かした堪能できるイベントです。

実施日時	1日3回、毎週4日（水・金・土・日）と祝日開催 【1回目】11時00分～ 【2回目】14時00分～ 【3回目】16時00分～	※毎週日曜日については、地謡（三線、琴、胡弓、太鼓等）の生演奏が加わります。
料金	観覧無料	
場所	首里城公園無料区域内下之御庭（系図座・用物座）	

首里城公園「琉球楽器（三線）体験会」

期間 1月13日（日）～3月31日（日）
開催日 週4日（水、金、土、日曜日）、祝日、特別開催
時間 1日2回実施（11時30分～、14時30分～）（約30分）
料金 無料（各回先着5名様）
演奏楽曲 「ていんさくぬ花」



講師による唄と三線の体験会です。

首里城無料ガイドのお知らせ

解説を聞きながら城内を見学しませんか？
※開始時間（1日4回）
1回目：10:00～
2回目：13:00～
3回目：15:00～
4回目：17:00～
※案内時間：約50分（有料区域内）
※定員15名
※別途入館料
※待ち合わせ場所：南殿・番所入口（有料区域）
※案内のご予約受付は致しておりませんので、案内開始時間に合わせて待ち合わせ場所までお越し下さい。

首里かわらばん 第25号

2013年2月発行

編集

首里かわらばん編集会議

発行/事務局

NPO 法人 首里まちづくり研究会
903-0805 那覇市首里鳥堀町 1-50-1 東雲館 102
TEL 098-963-9294
FAX 098-963-9296
http://happy.ap.teacup.com/suimachi/

協力

78 タイフーン FM（周波数 78.0MHz）
903-0824 那覇市首里池端町 34 2F
TEL050-3539-1178 FAX098-882-2400
http://www.fmnaha.jp/

タイトルデザイン 石原左内

● 編集後記 ●

※編集会議では、首里地域の皆さまのホットな情報提供をお待ちしております
今年は復帰 40 周年を記念して「全国椿サミット沖縄大会」も開催され、ちょっとした椿ブーム。首里の町中でも民家の庭先に椿を見かけます。琉球王国でも古くから愛されてきた椿。首里城で開催中の「椿展」へも是非お出かけください！

バックナンバーは、首里まちづくり研究会事務局（首里鳥堀交差点・ポタリング首里内）にて、1部 100円（活動協力金）でお求めになれます。

■首里かわらばんのバックナンバーがホームページでご覧になれます。
首里地域情報ポータルサイト「e 首里ドットコム」
URL <http://www.e-sui.com/>

石畳のまち首里金城町/城下町のメインストリート龍潭通り/首里の旗頭/首里の伝統菓子/首里三箇のまちづくり/鹿保駅周辺エリア/琉球の宮廷音楽/真和志令昔/寒水川/「水」への感謝でつながる絆/フクギとともに受継がれる紅型(山川町)/旗頭に懸せられた男たち(桃原町)/大中(ウフチュン)の歴史を見守り続けて(大中国)/首里城は世界で最も大きな漆器/結束力に支えられて広がる当蔵のまちづくり/歴史と地域を守り継ぐ舞-汀良町獅子舞/「先を踏む力」で和を結ぶ-鳥籠のまちづくり/子どもたちが誇りを持って故郷づくりを(首里石炭町北翔会)/伝統を受け継ぐ熱き杜氏たちの想い/100年後にも「弥勒世」の願いを伝えたい/二つの縁門～中山門と守礼門～/静かに出番を待ち続ける大太鼓～久場川町「延賢太鼓」～/二五〇年の伝統を守る首里末吉の獅子舞 安心・安全で「住んでいて良かった」と思えるまちに(赤平町)/首里城復元 20 周年記念特集

■お問合せ
事務局
TEL 963-9294

特集

地縁団体法人化を行い、若さと活気のある平良町自治会

インタビュー

平良町自治会会長

宮城 修 さん



首里には、かつての王都として落ち着きあるたがずまいと歴史文化があると共に、たくさん魅力ある首里人（すいんちゅ）がいます。この首里かわらばんでは、地域で活躍している人たちを紹介していきます。



今回、平良町の話をしてくれたのは宮城修さん。平良町自治会の会長に就任して五年目になる。日中は座波菓子店の工場長、プライベートでは沖縄小林流武聖館宮城空手道場の館長、公民館の三線サークルでは指導役を務めるという忙しい日々。

「平良町自治会の会員数は、平成二五（二〇一三）年一月現在で一四五三名です。年間を通しての活動も活発で、新春グラウンドゴルフ大会、六月の戦没者慰霊祭と総会、納涼盆踊り大会、角力大会、バス遠足などを行っています。青年会の活動としては、琉球王朝祭り首里やなは青年祭での旗頭はもちろん、エイサーは県外で演舞することもあるんですよ」

王府時代、西原間切だった平良町が首里区に編入されたのは明治三九（一九〇六）年。平成一八年には首里区編入一〇

〇周年を記念してイベントも開催された。「奉納角力あり、歌あり、踊りありで盛大にお祝いました。平成二三（二〇一一年）には自治会を法人化して地縁団体法人那覇市首里平良町自治会となり、中之毛や公民館の土地を、平良町自治会で登記したんですよ」

町の人々の心を繋ぐ「中之毛」を大切に残したい

現在、公民館のグラウンドとして使われているのは、もともと「中之毛」と呼ばれている広場。一〇〇年余りの歴史があると言われる角力大会が開かれるなど、地域にとって大切な場所だ。実は県道一五三号線の拡張工事に伴い、このグラウンドの確保が問題となった。

「県の土木課と何度も話し合いをしました。当初の計画では、道路を広げた分だけグラウンドが削られることになる。ここが狭くなると由緒ある角力大会も、納涼盆踊り大会も開けなくなり、旗頭の練習場所にも困ります」

自治会の活動そのものにも直接関わるグラウンド。



「用地の確保もできてひと安心」

毛という地域の歴史資源をなくしてしまっていないのかという問題もあった。



ダイナミックな動きが魅力の沖縄角力

しました。中之毛の角力大会は、昔は大東や伊江島、久米島、読谷からも出場するほど大きな大会でした。今は青年会対抗戦という形で行なっています。青年会では、去年、旗頭の二番旗も制作して、高校生を中心に掲げています。平良町には、こども会、若竹会（婦人会）、老人会、青年会のほかに、青年会活動をサポートする青年会OB会もあります。これからは先輩がたから受け継いだ『平魂（へいらたましい）』のころを、大切にしていきたいですね」



灯籠（とうろう）の円形は平和を表し、中央の赤色部分は太陽をモチーフとして情熱を表現した「平」の文字をかたどっている。